



(本郷キャンパス)
学校法人文京学院
文京学院大学 外国語学部 経営学部
人間学部 保健医療技術学部
ヒューマン・データサイエンス学部(2026年
4月開設)/大学院
〒113-8668 東京都文京区向丘1-19-1
☎大 03-3814-1661
文京学院大学文京幼稚園
〒113-0023 東京都文京区向丘2-4-1
☎幼 03-3813-3771

(ふじみ野キャンパス)
文京学院大学人間学部 保健医療技術学部
/大学院/文京学院大学ふじみ野幼稚園
〒356-8533 埼玉県ふじみ野市亀久保1196
☎大 049-261-6488 幼 049-262-3806

(駒込キャンパス)
文京学院大学女子高等学校
文京学院大学女子中学校
〒113-8667 東京都文京区本駒込6-18-3
☎03-3946-5301

大学

地域と世界をつなぐ日本語教育を推進 日本語教員養成機関として 文科省に正式登録

本学は、文部科学省より「登録日本語教員養成機関」および「登録実践研修機関」として正式に認定されました。2026年度より、全学部生を対象に、日本語教育の理論と実践を体系的に学ぶ「登録日本語教員養成プログラム」を開設します。

本プログラムの特徴

- 全プログラム修了者は、日本語教員試験の基礎試験免除、ならびに実践研修修了
- 「日本語教育の参照枠」に基づく体系的カリキュラム(5分野構成)
- 国内外での実践研修(韓国・インドネシアの提携大学(予定)、本学受け入れ留学生対象のキャンパス内での授業)
- 医療・福祉・教育など多様な分野と連携し、専門性と教養性を兼ね備えた人材育成

今後は、建学の精神「自立と共生」の理念のもと、地域と世界をつなぐ日本語教育を推進し、多文化共生社会の実現に貢献できる日本語教員を育成します。

詳しくは
コチラ



高校

2つの探究活動で高校生9名が受賞

「生活創造コンクール」において2名が『努力賞』を受賞。また、「坊ちゃん科学賞研究論文コンテスト」において、理数キャリアコースの3年生7名が『佳作』・『奨励賞』を受賞しました。

TOPIC01 「第23回 生活創造コンクール」(主催:東京家政大学生生活科学研究)

『努力賞』「地球も、爪も、美しく。貝殻から創る、新しいネイル習慣の提案」

大塚彩寧さん(3萩)、太田詩乃さん(3萩)
※コンクールHPで論文全文掲載予定

TOPIC02 「第16回 坊ちゃん科学賞研究論文コンテスト」 (主催:東京理科大学)

『佳作』「スクミリンゴガイとその黄変種の ゴールデンアップルスネールにおける フローティング行動の新規発見と行動解析」

星野茉莉花さん(3梅)、松下怜奈さん(3梅)

『奨励賞』「外反母趾と靴」 寺内馨子さん(3萩)、福田愛華さん(3萩) 「蜜蝋ラップの保存効果」 齊藤凜々子さん(3梅) 「ストレスを減らすチャットボット作成」 伊藤小恵さん(3梅)、矢田小晴さん(3萩)



▲受賞した生徒たち

探究活動の
ページはこちら



高校

英語スピーチ コンテスト開催

11月5日、「第53回英語スピーチコンテスト」が駒込キャンパスジャシーホールで開催されました。多くの観客を前にして緊張した雰囲気の中、暗唱部門6名、スピーチ部門7名が素晴らしい発表を披露しました。審査員は、アオバジャパン・インターナショナルスクール文京キャンパス校長 Mr. Christopher Hoddinott、セント・ジョーンズ大学准教授 Ms. Majel Baker、本校教諭 Mr. Allan Nisbetが務め、審査の結果、次の生徒が入賞しました。(敬称略)

【暗唱部門】

- 1位 長野美亜(1楓)
- 2位 小出春佳(1藤)
- 3位 細井さくの(1萩)

【スピーチ部門】

- 1位 アマン・バシル・モハメド・カム(2梅)
- 2位 太田柚希(2桜)
- 3位 高橋万里佳(1梅)

【島田賞】

アマン・バシル・モハメド・カム(2梅)

「スピーチ部門1位」・
「島田賞」受賞のカムさん▶
▶「暗唱部門1位」の
長野さん

大学

人間学部岩館豊ゼミ4年生が 「向丘レトロ探訪」を開催

地域の歴史を今に伝える世代間交流展示「向丘レトロ探訪 秋のミックススペース」が、本郷キャンパス「まちろポ本郷」で開催されました。高度成長期の文京区向丘町に焦点を当て、当時の写真や商店街地図、昭和30年代の足踏みミシンを展示し、実際に動かす体験も行われました。老舗おでん屋「呑喜」の店内再現スペースもあり、地域住民と学生が交流する場となりました。



詳しくは
コチラ



大学

岩館豊助教が 『ふじみ野市史』の監修を担当

ふじみ野市誕生20周年を記念し、市の歩みをまとめた『ふじみ野市史』が2025年10月に刊行され、本学人間学部コミュニケーション社会学科の岩館豊助教が監修者として参加しました。

岩館助教はふじみ野市に関わりをもつ研究者の立場から記述内容の根拠確認やコメントを行い、「あとがき」の執筆も担当しました。

本学は2008年にふじみ野市と包括協定を締結し、公開講座や「子ども大学」などを通じて地域と共に歩んできました。

詳しくは
コチラ



大学院

経営学研究科生が 個展を開催

11月4日～9日、池袋の「栗原画廊」にて、大学院経営学研究科2年の王浩彦さんが個展「螢(ほたる)」を開催しました。本展では、絵本イラストの幻想的な世界、日常を切り取った記録イラスト、雑誌の依頼作品、さらに物語の構成を示すストーリーボードなど、多彩な作品が並び、来場者を魅了しました。個展名「螢」には、「日常の隅々に散らばった光を、ゆっくりと眼前に広げたい」という思いが込められています。王さんは「作品の選定から額装、陳列の細部まで、創作時の一つ一つの想いを裏切らないよう心がけました。これらの作品が、観覧者と少しでも共感を生むことを願っています」と語りました。

PHOTO GALLERY フォトギャラリー



王さん

GREEN SPIRITS



外国語学部
—学部長として歩む日々—
外国語学部長・教授
フェアバンクス香織

今年度、外国語学部長を拝命しました。在職18年目とはいえ、学部では数年前まで委員会の長すら務めたことのない私。学長からその一報を聞いた瞬間、大変なことになったと思いました。その晩、遅れて参加したヘミングウェイ協会の懇親会でも、海外での共著出版プロジェクトを始めたばかりということもあって不安は増すばかり……。そんな私に、旧知の共愛学園前橋国際大学の

大森昭生さんだけが「大丈夫、大丈夫」といつもの穏やかな笑顔で言葉をかけてくれたのを覚えています。

学部長としてどうあるべきか、何をどう進めていくか。その答えは割とスムーズに出ました。「学部長」という羽織を着ても私は私以上にはなれないし、学部の基盤や方向性は前任の方々のおかげです。すでに立派なものが築かれていたからです。あとはそれら一つひとつの歯車を皆で手分けすること、ここぞという時に力を合わせて全員でぐんと回し「外国語学部」という装置を大きく稼働させること、そしてそこで生まれた“風”を学部や大学を越えたところまで届けること。私の学部長としての任務はひとまずそれに尽きるだろうと思ったのです。

着任して8か月、文字通り目が回る日々の中でヨレヨレしている私を多くの方々支え、喜怒哀楽を共にしてくれています。特に入試広報センターの若手・中堅手職員の発

想力と企画運用力、そして教務グループの皆さんの学生に寄り添う温かい姿勢は私の大きな励みです。学部運営は教員だけで進めていけるものではありません。入試、広報、教務、キャリア、教職、留学——各部署の「プロ」と互角に意見を交わしながら、旧式に縛られず、新しい風を生み出すべく果敢に挑戦できる環境づくりに努めています。

とはいえ、リーダー経験の少ない私はつい余計なことを言ったりしたり・・・反省と後悔の毎日です。学部長就任の知らせを聞いた夜、50代に入ったばかりなのにと弱音を吐く私に、大森さんは「僕が学部長になったのは30代。でも周りがすごくサポートしてくれたんだ」と言ってくれました。確かに私も今、多くのサポートに包まれています。その想いを胸に、遙か先をいく大森さんを見据えながら、皆で外国語学部をさらに盛り上げていけらと奮闘しています。

中高 文女祭開催

10月25日・26日、駒込キャンパスにて「文女祭」が開催されました。今年のスローガンは「翔—旅の過程に未来あり—」。昨年文京学院が創立100周年を迎え、その先へと旅立っていること、そして、生徒一人ひとりが未来に向かって旅立つ思いが込められたテーマです。中学高校ともに探求活動や部活動の発表、後援会によるバザーなど活気ある文女祭となりました。

中学

在校生だけでなく、家族・受験生・一般の方にも楽しんでもらえるよう、今年度も全員が実行委員となり、準備から昨年度以上に更に力が入りました。天候はあいにくの雨となってしまいましたが、中学生全員で運営したお祭り企画は今年も大好評でした。特に「スピードキャッチ」「的当てゲーム」「お菓子当てクイズ」は、中学生徒会総務役員が考えた101個の景品もすぐになくなってしまいうほど大盛況となりました。

当日は、ご参加いただいた方々からの笑顔での「ありがとうございました!」の声に喜びが溢れていて、中学生の顔には満面の笑みが広がっていました。

以下、中学生徒会副会長 西留尚花さん(2栗)のコメントを紹介します。

「今年もお祭り企画が盛り上がりました。特に、「的当てゲーム」では、高得点に入ったときの来校者の方のうれしそうな表情や在校生たちの楽しそうな接客があり、活気がありました。このような文女祭を作り上げることができ、とてもうれしく達成感がありました」

高校

文女祭は、あいにくの天候となりましたが、多くの来場者で賑わいました。今年は38名の生徒が実行委員を務めました。装飾&カフェテリアプロジェクトは早めに準備を始め、エントランス周辺の装飾に工夫を凝らし、当日は新企画のパン販売も行われました。2日目は雨のため、校庭で予定されていた演技は、ホールや体育館に場所を移して実施しました。準備日に新体操部や校庭プロジェクトの生徒が体育館の設営を行ったことで、当日は大きな混乱もなく、観客席から大きな拍手が送られました。ホールや音楽室、各教室で行われた部活動の発表や展示では、日頃の取り組みが存分に発揮され、見応えのある内容となりました。1年生は全クラスが「ゲームセンター企画」を行い、各教室は活気に溢れ、趣向を凝らしたゲームを多くの来校者に楽しんでいただきました。2年生の模擬店では、昨年よりも予算を増やし品数を充実させましたが、13時には全て売り切れとなりました。今年も大盛況の学園祭となりました。

PHOTO GALLERY フォトギャラリー



特集 注目のトピックス

Topic 01

10月5日



大学

ボランティア部が「2025パイロットウォーク」の運営をサポート
脳関連障がいを持つ人々への支援と、脳の健康維持を呼びかけ
@井の頭自然文化園

Topic 02

10月18日



大学

文京祭で岩手県釜石市の老舗旅館「宝来館」元女将岩崎昭子氏による「語り部」開催 @本郷キャンパス



吹奏楽部が「東京都吹奏楽連盟 ゴールデンパレード」に参加
@銀座通り



中高

Topic 03

10月19日

文化教養講座「弦楽四重奏のしらべ」
パシフィックフィルハーモニア東京による演奏 @本郷キャンパス

Topic 04

10月19日



大学

「GTFグリーンチャレンジデー2025」でコンテンツ多言語知財化センターと、まちづくり研究センターの学生がワークショップを実施
@新宿御苑

Topic 05

11月1・2日



大学

コンテンツ多言語知財化センター
まちづくり研究センター



「第24回文京エコ・リサイクルフェア」に人間学部 中山智晴ゼミ学生が「森林従事者を増やすための取り組みと未来への課題」をテーマにブース出展
@文京シビックセンター



大学

Topic 06

11月8日

映画「富士山と、コーヒーと、しあわせの数式」のノベライズがKADOKAWAより発売

Topic 07

11月9日



学院



学生とふじみ野市議会議員が「子どもの居場所づくり」で意見交換
人間学部 児童発達学科の4年生が参加
@ふじみ野キャンパス

Topic 08

11月10日



大学

tomochan

第99回
画:美術部(高校)K

